

平成28年度 福智町職員採用試験案内

# 輝かせよう、 自分彩。じぶんいろ

■ 第1次試験日

**9月18日** 日

■ 受付期間

**7月19日** 火 ~ **8月12日** 金 (平日8:30~17:15)

■ 試験内容

**社会人基礎試験、職務適応性検査**

※ 一般事務B・土木技師Cは専門試験あり。

■ 試験職種・受験資格

① 一般事務A ▶ 5人程度

昭和61年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人

② 一般事務B (一般事務兼保健師) ▶ 1人程度

昭和61年4月2日以降に生まれた人で、保健師の資格を有する人または平成29年3月末までに資格取得見込みの人

③ 土木技師C ▶ 1人程度

昭和56年4月2日以降に生まれた人で、2級土木施工管理技士以上の資格を有する人または平成29年3月末までに資格取得見込みの人

■ 申込方法

▶ 試験案内と申込用紙は、福智町役場総務課、赤池支所、方城支所で配布します。

▶ 来庁できない場合は、郵送請求または福智町公式サイトからダウンロードしてご入手ください。

▶ 申込用紙に記入し、8月12日 金までに福智町役場総務課人事係(本庁舎3階)へ持参または郵送してください。

▶ 郵送で請求する場合は封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書きし、140円切手(速達の場合は420円切手)を貼った宛先明記の返信用封筒角2号(A4版)を同封して送付してください。

※ 詳しくは下記までお問い合わせください。

☎ 福智町役場総務課 人事係 ☎ 22-0555

## 夏休み直前に考えたい 地域の子どもの安全 ● 地域の子は地域で守る

夏休み中は子どもの行動範囲が広がり、自由な時間も長くなるため、事件・事故が発生しやすい時期。また、子どもたちの気持ちもゆるみがちになり、夜遅くまで出歩いたり、お酒やたばこに手を出したりと、さまざまな誘惑に負けやすい時期でもあります。地域の子どもたちを危険から守るためには、地域のみなさんの目が非常に重要となります。



啓発



田川保護司会による社会を明るくする運動



### 10代の非行者率は全国ワースト2位

福岡県は10~19歳の人口1,000人あたりの刑法犯少年の割合(非行者率)が6.4人で、全国ワースト2位となっています。さらに成人を含む全刑法犯のうち、約3割を10代が占めているという状況。家庭や学校での指導はもちろん「地域の目」は非行の大きな抑止力になります。非行の防止と非行者の更正に向け、地域の子どもたちをあたためた目で見守りつつ、必要ときには援助の手をさしのべ、誰もが安全に暮らせる明るい地域を目指しましょう。



### 日ごろからのつながりが地域力に

日ごろからあいさつや行事などでつながりの深い地域は、防災、防犯、環境などあらゆる課題に強い地域。町内でも各地で登下校時の見守り活動や防犯パトロールをボランティアで行っている人はたくさんいますが、その中の一つ、上野の「四区きずな会」は、週5回、学校とも連携して地域ぐるみで子どもの見守り活動を実施。見通しの悪い道や災害危険箇所、ひとり暮らしの高齢者宅などを把握し、普段からの声かけを大切にしながら地域力を高めています。

見守り



四区きずな会の下校時の見守り・誘導



子どもは、親や地域の大人の善悪に対する態度や規範意識を見て育ちます。もしも非行を見た場合には、親や周囲の大人がきちんと注意し、正しい方向に導くことが大切です。家庭や学校、地域が一体となって社会のルールを守ることを教え、子どもを非行から守りましょう。

田川署赤池交番連絡協議会 ● 代表 三宅 嘉一さん(上野)

昭和30年から活動してきた前代表の思いを引き継いだボランティアグループ。会員9人。警察署員を交えて定例会を行い、犯罪の実態を把握しながら、見回りや清掃などで地域の防犯活動に努めています。代表の三宅さんは警察署長からの委嘱を受けた少年補導員としても活動中。

### 水難事故にご注意を!

水難事故の約4割が7月、8月に集中しています。また、小・中学生の水難死亡事故の多くは河川で発生(下図)。家庭や地域で目をかけ、声をかけて大切な命を守りましょう。



水難死亡事故発生場所